

※ 解答は、《解答らん》に書きましょう。

校内新聞の学級しようかいを担当することになった大川さん、中川さん、小川さんは、学級で飼育しているメダカの記事を書くことにしました。次の文章は、三人が書いた記事の下書きです。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

○ 五年一組では、二つの水そうでメダカを飼っています。水そうは、教室内の南側にあるたなの上と、教室前のろう下に置いています。 (大川)

○ メダカは、オスとメスの見分けがつきにくい生き物です。背ビシに注目すると、オスかメスかが分かります。背ビシがギザギザになっているのがオスで、そうになっていないのがメスです。 (中川)

○ 昔は、どこの川や池にもいたメダカですが、環境の変化や外来種の増加によってメダカの数は激減しました。そして、一九九八年、環境庁(現、環境省)はメダカを絶滅危惧種に指定しました。 (小川)

一 石田さんは、三人の下書きを読んで次のようなコメントを書きました。文中の(A)、(B)に当てはまる言葉を書きましょう。

大川さんは「水そうのある場所」、中川さんは「オスとメスの(A)」、小川さんは「メダカの数が減っていること」と、それぞれがちがう観点で書いているところがよいと思います。気になる点は、(B)さんの文章にむずかしい言葉がいくつか使われている点です。校内新聞は低学年や中学年も読むので、むずかしい言葉をやさしい言葉に直したり、説明をつけ加えたりするとよいと思います。

二 石田さんのコメントのよいところとして最もふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

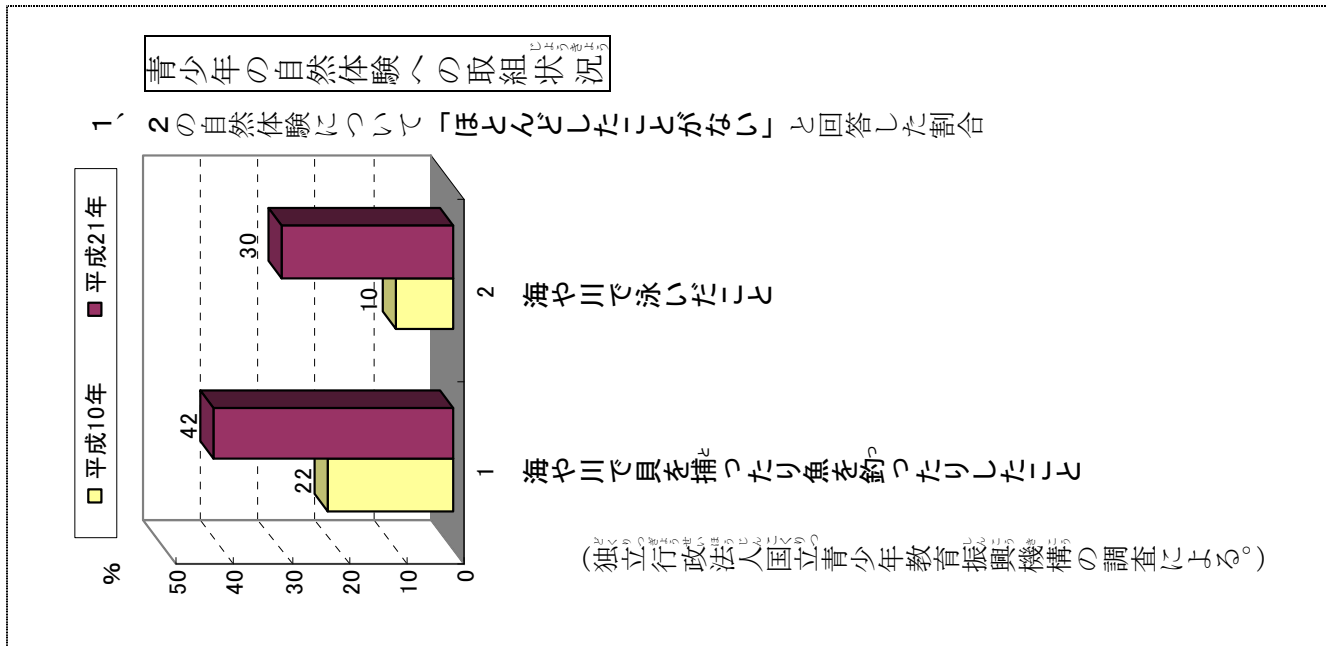
- ア 三人全員を取り上げるのではなく、一人だけに注目しているところ
- イ それぞれの人に対して、よい点と見直してもらいたい点を述べているところ
- ウ 自分の知っていることを数多く示し、記事の内容を深めているところ
- エ 気になる点を述べるだけでなく、アドバイスもしているところ

【二ページ】

三 石田さんは、これまで自然の川や池で泳いでいるメダカを見たことがありませんでした。そこで、同じクラスの15人から聞き取り調査を行ったところ、

- 自然の川や池で泳いでいるメダカを見たことがある 2人
 - 自然の川や池で泳いでいるメダカを見たことがない 13人
- という結果になりました。

また、石田さんは、ホームページで次のグラフを見つけました。



二つの調査結果から、石田さんは、次の意見を持ちました。

【石田さんの意見】

わたしたちの地域には、池や川がたくさんある。ところが、クラスの友だちの中で、自然のメダカを見たことがある人はわずかしかない。また、グラフを見ると、海や川で遊んだ経験がない青少年が、十年ほどで大はばに増えていることが分かる。

このことから、日本の自然環境は年々悪くなっている、そのために、人々が自然からはなれているのではないかと考える。

【石田さんの意見】を読んで、あなたが考えたり、思ったりしたことを、三つ以上の文で、八十字以上、百字以内にまとめて書きましょう。

一 A 見分け方 B 小川

二 E

三 (例 1)

ぼくは、この意見に賛成できません。なぜなら、若者の自然体験が減ってきたのは、自然環境の問題よりも、パソコンやゲームなどの影響が大きいのだからです。実際、ぼくたちは、外より家の中でよく遊んでいます。(100字)

(例 2)

ぼくは、この意見に賛成です。なぜなら、ぼくたちの住む地域の川や池は、とても汚れており、生き物の姿もほとんどなく、そこで遊ぶ気持ちになれないからです。まず、自然を元にもどすことが必要だと思います。(99字)

(例 3)

わたしの住んでいる地域も池や川はたくさんあります。でも、危険だからといって遊ばせてはくれません。子どもの自然体験が少ないのは、危ないことをさせようとしていない大人たちに責任があるのではないのでしょうか。(99字)